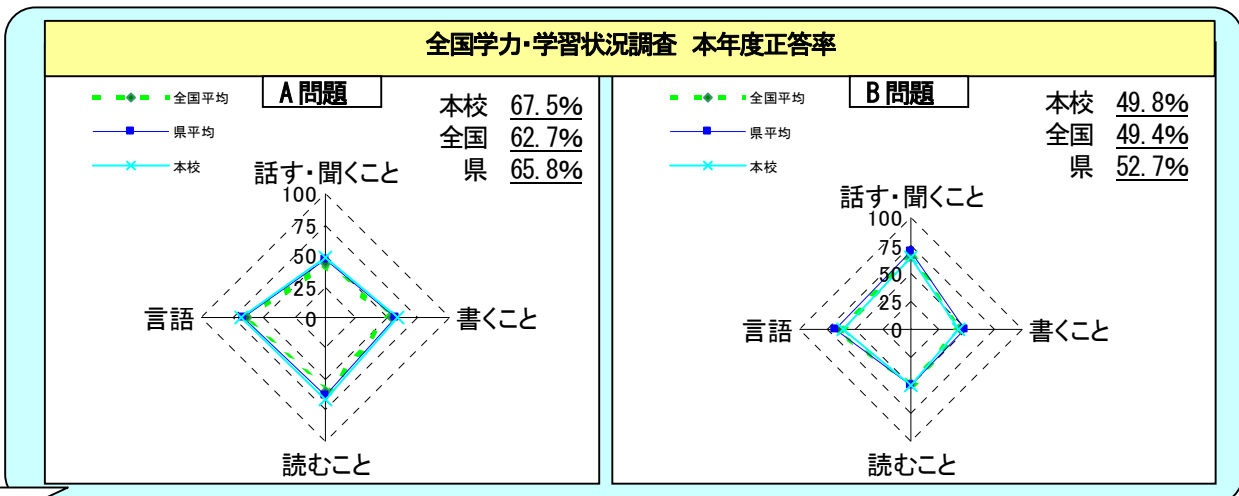
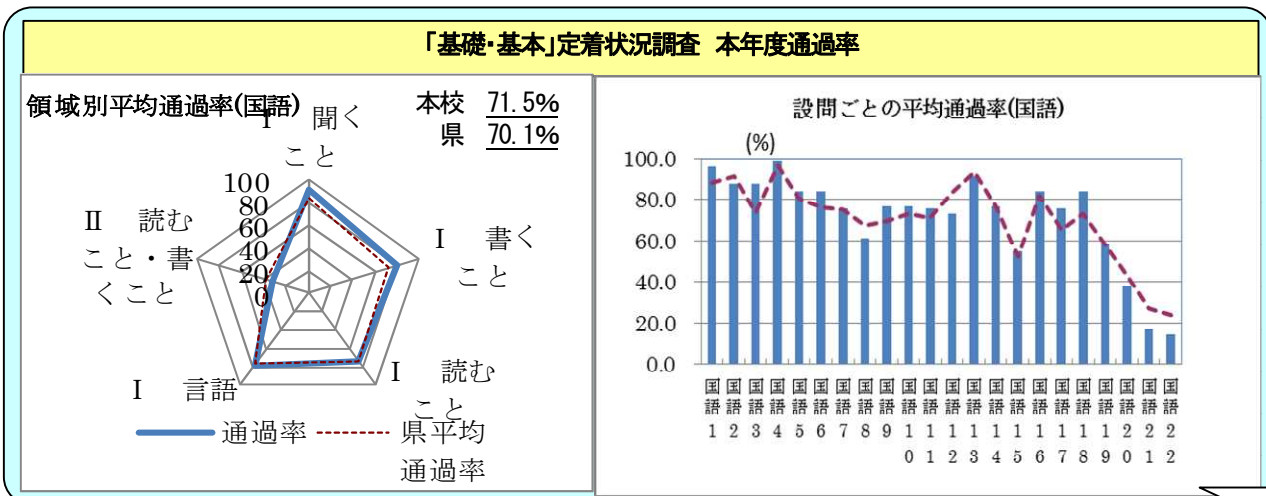


# 指導方法等の改善計画について〔国語〕



### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎ 叙述から登場人物の気持ちを想像することができにくい。  
(通過率54.9%)

◇文及び文章の構成に関して、文の定義ができていない。  
(正答率28.6% 無回答率34.1%)

◇ 文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができにくい。(正答率34.1%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

◎ (小中一貫) 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や具体例を挙げて分かりやすく書かせる。そのために根拠に基づいて考えさせ、与えられた条件を正しく読み取らせる。

◎ 登場人物の気持ちがわかるキーワードとなる叙述を見つけさせ、キーワードから連想できるイメージを膨らませる活動を多くする。そして、お互いの考えを交流させることによって、さらにイメージを豊かにすることで、登場人物の気持ちを想像することができるようにする。

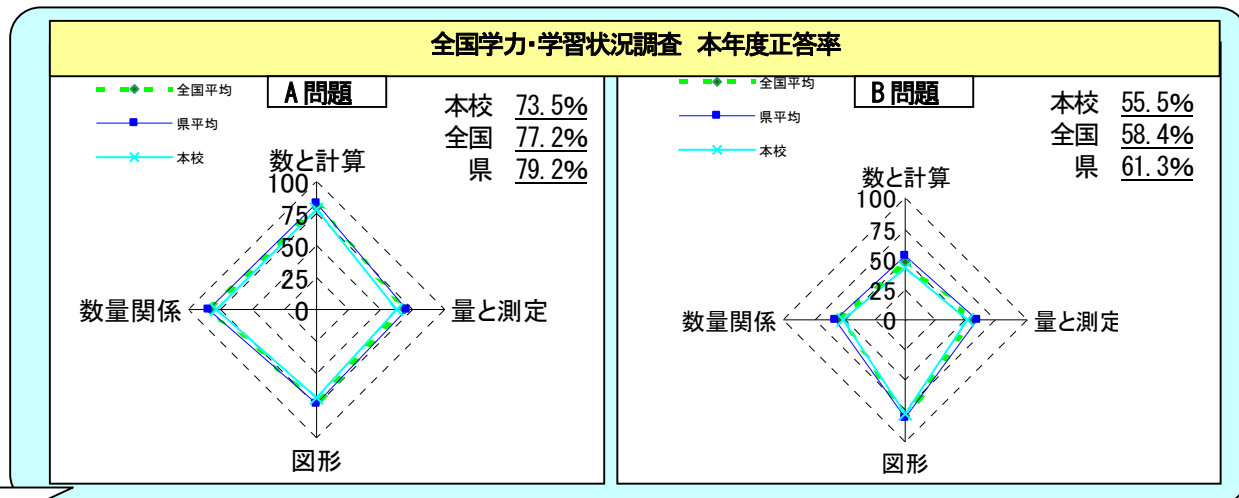
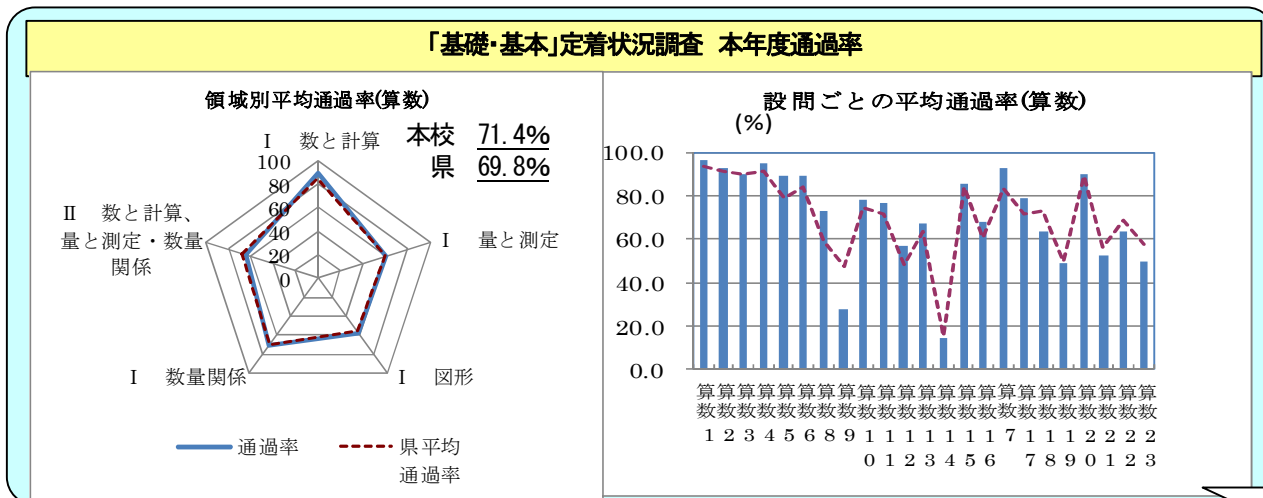
◇ 日記などを通して、常に主語・述語が照応するように書く指導をする。

◇ 読みの指導において、文の意味を理解し、文相互の関係を意識させるようにするとともに、文脈に沿って接続語を適切に使えるようにする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4年生 「基礎・基本」		3年生 「基礎・基本」	4・5年生 単元末テスト
目標値	70.0%			65.0%		60.0%	70.0% 80.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			5学年 「全国学力」			5学年 「全国学力」
目標値	50.0%			60.0%			65.0%
実施後数値							

# 指導方法等の改善計画について〔算数〕



#### 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

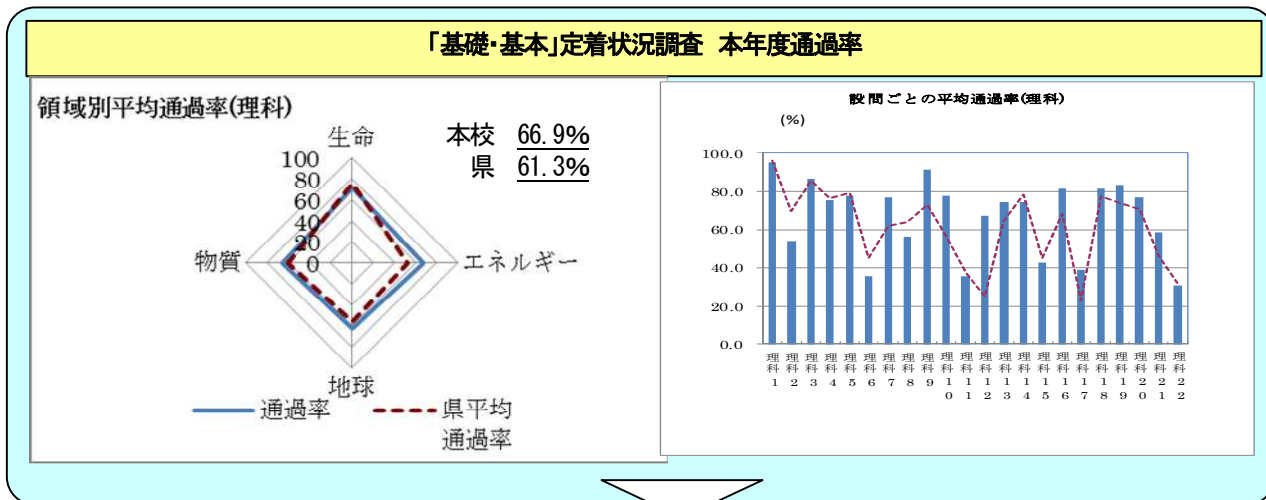
- ◎ 図形の特徴を表す定義を言葉で明確に言い表すことができにくい。  
(通過率14.9%)
- ◇ 数値を適切に取り出して、二つの数量の関係を説明することができにくい。  
(正答率27.5%)
- ◇ 単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係を求めることができにくい。  
(正答率36.3%)

#### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎ (小中一貫) 図をかいたり、具体的な数量を使ったりするなど、多様な方法で関係を考えさせて立式する場面を多くとる。
- ◎ 正方形の定義の言葉の意味を丁寧に確認し、視覚的なイメージを捉えることができるように掲示物を貼る。さらに、「のびっ子タイム」で定義を使った問題の反復練習をさせたり、定義を使って「話す」「書く」機会を多くすることによって、図形の特徴を表す定義を言葉で明確に言い表すことができるようにする。
- ◇ 表などから適切な数を選び出し、必要なことを落とさずに説明できるようにするために、自力解決の場面で表を書いて整理させ、表の有効性に気づかせる。
- ◇ もとにする量と比べる量を認識する力をつけるために、積極的に線分図に表すようにさせる。また問題文の必要な情報にアンダーラインを引き、意識づけをする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4年生 「基礎・基本」		3年生 「基礎・基本」	4・5年生 単元末テスト
目標値	60.0%			60.0%		50.0%	70.0% 80.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	6年生 小テスト			5学年 「全国学力」			5学年 「全国学力」
目標値	60.0%			65.0%			70.0%
実施後数値							



**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査**

◎① 学習した内容を身近な現象と関連づけて考えることができていない。  
(平均通過率43.9%)

◎② 一般化された生き物の体のつくりや成長の仕方が、実際の生き物と対応できていない。(平均通過率44.6%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

◎① (小中一貫) 見通しを持って観察・実験を行わせることで、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図るとともに、結果、考察の思考の流れを整理して、筋道だった説明をする指導を行う。

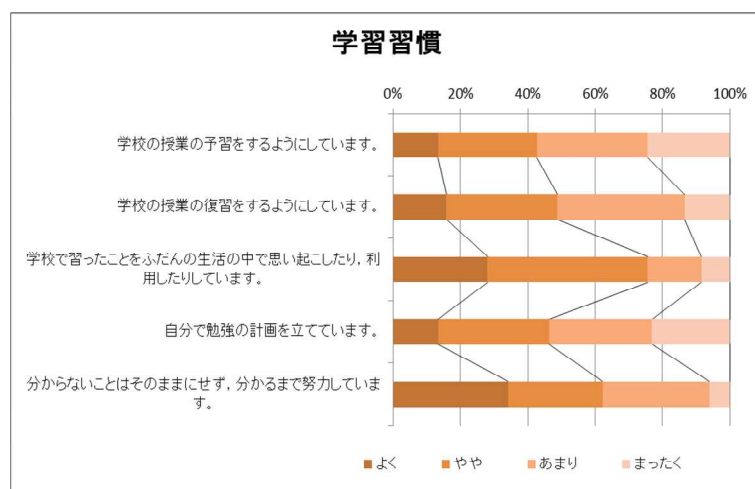
◎② 実際に生き物を飼育・栽培し、実物に触れる機会を増やし、記録を取る習慣をつける。さらに、観察した生き物の体のつくりや成長の仕方を一般化し、一般化したものと実物に対応させる学習活動を充実させる。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4年生 「基礎・基本」			4・5年生 単元末テスト
目標値	70.0%			60.0%			70.0% 80.0%
実施後数値							

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 小テスト			4年生 「基礎・基本」			4・5年生 単元末テスト
目標値	70.0%			60.0%			70.0% 80.0%
実施後数値							

## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

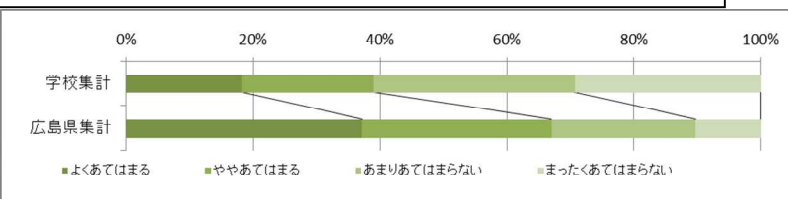
### (1) 生活・学習



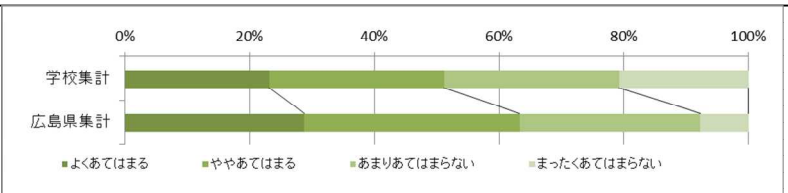
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	学校の授業の予習・復習をすることができにくい。（42.7%、48.8%）	4月に配布した「家庭学習の手引き及び内容」の活用を促したり、復習を中心とした自主学習の例を示し推進したりするとともに、評価したり児童のノートのコピーを掲示したりする。	5年	60%	児童アンケート調査	12月		
全国	家で進んで授業の復習に取り組むことができにくい。（52.8%）	復習を中心とした自主学習の例を示したり、手本となるものの例を紹介したりしながら、主体的に復習する体制をつくる。	6年	70%	児童アンケート調査	12月		

### (2) 教科

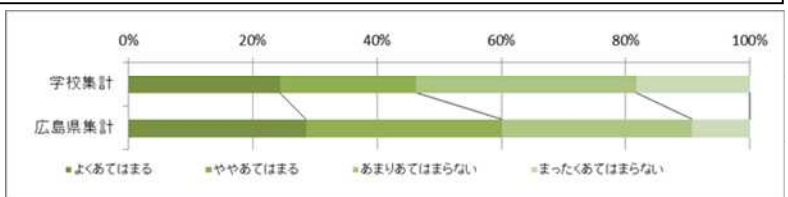
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



算数の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本	分からない言葉や漢字を辞書を使って調べることがあまりしない。（39.0%）	5年	70%	児童アンケート調査	12月		
国語	全国	目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりすることができにくい。（60.5%）	6年	70%	児童アンケート調査	12月		
算数	基礎・基本	集団解決のときに、理由をあげて説明することができにくい。（51.2%）	5年	70%	児童アンケート調査	12月		
算数	全国	問題解決の時、なぜこの式に表したのか、理由を説明することができにくい。（61.6%）	6年	70%	児童アンケート調査	12月		
理科	基礎・基本	自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりするのが好きではない。（46.3%）	5年	60%	児童アンケート調査	12月		

「基礎・基本」定着状況調査の調査結果入力ファイルで  
作成されるグラフを適宜活用する。